

目次

ページ	
1	展望 地方創生のためにも水土の知を次世代と 加藤 徹
3~30	小特集 水土の知を次の世代と
3	子どもの学びを通し農業水利施設の多様な価値を伝える活動 遠藤和子
7	国東半島宇佐地域の連携ため池に見られる「水土の知」と次世代への継承の取組み 友正達美・辛島光彦
11	非農家も参加する営農組合による中山間地域の農地維持 坂田寧代・落合基継・吉川夏樹
15	大学生による農業水利分野の環境教育と社会への発信活動 木村匡臣・飯田俊彰・岡島賢治・山岡和純・杉浦未希子
19	「水土の知」の体験的学習とその意義 西原是良・加藤基樹
23	高大連携事業を通じた農業高校への農業農村工学教育の支援 宗岡寿美・高山裕司・山崎由理・木村賢人・辻 修
27	デジタル化された古典読解の問題点と現代語訳の試み 藤本直也・神田綾香・柴崎真理子
31	小特集<参考資料>：今回の小特集テーマに関連する既刊の小特集一覧
33~48	報文
33	大潟村からみた土地利用型農業の振興に関する一考察 高橋順二・下斗米 彩
39	水田農業経営の現状と土地改良区を巡る新たな論点 木下幸雄・及川正和
45	中越地震後の大規模養鯉業者の山間部における展開 坂田寧代・與那覇龍二
50~61	技術レポート
50	北海道支部：北海道（当麻永山用水地区）における小水力発電への取組み 市川越野・小野隆司・森 哲治
52	東北支部：戸沢地区における JR に近接する地盤改良の施工事例 横尾知佳・大内 明・佐藤 健
54	関東支部：農業水利施設の機能診断技術向上の取組み 多田世界
56	京都支部：重機使用が困難な山間部における用水路改修工法について 湯浅まゆ・村田 満・小林敏正
58	中国四国支部：感潮河川における頭首工の改修事例 宮内真司・上田秀則
60	九州沖縄支部：老朽化した若杉ダムゲートの改修事例 佐藤広光・木元泰徳
62	小講座 ESD（持続可能な開発のための教育） 菊沢正裕
63~108	コミュニティ・サロン
64	私のビジョン 「研究のいま」の共有 渡部恵司
67	スクール便り 農業土木・環境土木科の71年— —山口県立田布施農工高等学校 環境土木科— 山崎盛敏
69	Cover History 苗場山麓の大谷内ダム貯水池 —表紙写真由来— —新潟県中魚沼郡津南町— 毛受亨政
71	平成 27 年度農業農村工学会賞
90	委員会報告 平成 27 年度大会講演会におけるセッション総括およびポスター賞の授与 について 研究委員会
103	通信教育 技術者継続教育機構 第 122 回通信教育問題
106	部会報告 第 36 回農村計画研究部会現地研修集会開催報告
108	学会ニュース
109	インフォメーション・コーナー
巻末	既刊の土地改良事業計画設計基準の正誤表 年表（2014）

大谷内ダム貯水池（毛受亨政）

まさに貯水池。澄んだ空の青色を映して、その静かな水面が美しい。しかしこの貯水池の果たす役割の何と重要なことか。その重要さをうかがわせる、映画のファーストシーンのような暗示的な写真である。新潟の津南の方へゆくと、その農地の多くは河岸段丘上にあり、一番下の方が川が流れている。棚田もそうだが、この河岸段丘の農地はのどかな風景だが、その作業を想像するとややこしくなる。

しかしじっさいややこしいのは本当だった。河岸段丘上の水田、畑地の用地確保に国営の大事業が戦後間もなくからついこのあいだまで続いていたのである。国営苗場山麓事業と呼ばれるのがそれだが、三区に分けて計画進行した事業のうち、写真の大谷内ダムの事業は



公益社団法人 農業農村工学会

2015
VOL-83

11

WATER,
LAND AND
ENVIRONMENTAL
ENGINEERING

Feature Section : Inheritance of Wisdom Based on Land and Water to the Next Generation

- Succession of the Value of Irrigation and Drainage System Facilities through Children's Learning *ENDO Kazuko*.....3
- Characteristics of Irrigation Ponds in Kunisaki Peninsula Usa Area and the Succession Activities of the Local Knowledge *TOMOSHO Tatsumi and KARASHIMA Mitsuhiro*.....7
- Reduction of the Development of the Abandoned Paddy Fields around Hilly and Mountainous Area by the Farming Group Including Non-Farm Households *SAKATA Yasuyo, OCHIAI Mototsugu and YOSHIKAWA Natsuki*.....11
- Environmental Education and Outreach Activities Related to Agricultural Water Use Conducted by University Students *KIMURA Masaomi, IIDA Toshiaki, OKAJIMA Kenji, YAMAOKA Kazumi and SUGIURA Mikiko*.....15
- Experimental Learning and the Significance of "the Water, Land, and Environmental Engineering" *NISHIHARA Yukinaga and KATO Motoki*.....19
- Education Supports on Irrigation, Drainage and Rural Engineering for Agricultural High School with the Partnership Program of High School and University *MUNEOKA Toshimi, TAKAYAMA Yuji, YAMAZAKI Yuri, KIMURA Masato and TSUJI Osamu*.....23
- Trial of Translating a Heritage Document Using Its Free Digital Version *FUJIMOTO Naoya, KANDA Ayaka and SHIBASAKI Mariko*.....27

Papers

- Study on Vitalization of Regional Land-extensive Farming through Overview of Agricultural Development in Ogata Village *TAKAHASHI Junji and SHIMOTOMAI Aya*.....33
- The Reality of Paddy Farming and New Issue on Land Improvement Districts *KINOSHITA Yukio and OIKAWA Masakazu*.....39
- Large-Scale Koi Breeders' Efforts around Hilly and Mountainous Area after the Mid-Niigata Prefecture Earthquake in 2004 *SAKATA Yasuyo and YONAHARA Ryuji*.....45

Technical Reports

- The Challenge to the Low Head Hydro Power Plant in Hokkaido by the Irrigation Project in Tomanagayama *ICHIKAWA Etsuya, ONO Takashi and MORI Tetsuharu*.....50
- Construction Example of the Ground Improvement near JR in the Tozawa Area *YOKOO Chika, OUCHI Akira and SATO Ken*.....52
- Action of the Function Diagnosis Technology Improvement of Agriculture Supply of Water Facilities *TADA Sekai*.....54
- The Repair Method of the Irrigation Canal in the Mountainous Area Where Is Difficult to Use Heavy Construction Machine *YUASA Mayu, MURATA Mitsuru and KOBAYASHI Toshimasa*.....56
- The Improvement Case of Head Works in a Tidal Estuary *MIYAUCHI Shinji and UEDA Hidenori*.....58
- Refurbishment Case of Dilapidated WAKASUGI Dam Gate *SATO Hiromitsu and KIMOTO Yasunori*.....60

Technical Word

- Education for Sustainable Development *KIKUSAWA Masahiro*.....62

お知らせ○多摩川およびその流域の環境浄化に関する基礎研究、応用研究、環境改善計画のための研究・活動助成の募集について.....32

▽ 苗場山麓第二地区事業で1975年度に始まって99年度までかかったという。大谷内ダムの新設をはじめとする農地造成、用水路や農道整備などの諸工事である。ダム貯水池すべてが堤体で囲まれ、その長さは1,780mで日本一となるものだろう。

豪雪地帯としても知られるこの地方はいまは豊富な農産物の生産地である。だが幹線沿いにある家並みはみな高床式？とでもいうような地面から下駄を履かせたような具合で立ち上がっている。もちろん、豪雪に備えて家の玄関が雪に埋もれないようにするための形である。そういう条件の悪さも、この写真にある美しい静かな貯水池が克服の手だてになったということになる。

(講評 東京造形大学名誉教授 柳本尚規)